

全附P連 令和8年度 附属学校・PTA活動 情報紹介シート

所属学校名	福岡教育大学附属久留米中学校		
役 職	PTA会長	氏 名	伊藤 秀典
活動名称	「まずはやってみる」保護者の挑戦 ～働き方改革を支える4つの取組み～		

働き方改革が求められるなか、行事の企画・準備・当日運営の負担が教職員に集中する一方、共働き世帯の増加により、平日開催の行事に参加できない保護者が増えるなど、附属久留米中学校PTAにも多くの課題がありました。そこで「まずはやってみる」というチャレンジ精神のもと、保護者と教職員がそれぞれの立場で負担を分かち合う、次の4つの取組みをスタートしました。

① スマホで選べるランチ弁当提供サービス「ペコフリー」の導入 【保護者の負担軽減】

毎朝の弁当づくりは、各家庭にとって日常的な悩みとなっていました。そこで、スマートフォンから選べるランチ弁当提供サービス「ペコフリー」を導入。「まずはやってみる」の精神で挑戦した取組みで、ご家庭の弁当づくりの負担軽減につなげています。



スマホで選べるスクールランチ「ペコフリー」

② キャリア教育の支援 【教職員の負担軽減】

キャリア教育や地域連携など新たな教育ニーズが増える一方、その企画・調整まで教職員が担う負担が課題でした。「おやじの会」が主体となり講師の選定や当日の運営をサポート。保護者の多様な職業経験を活かして生徒のキャリア観を広げるとともに、学校と保護者で役割を分担することで教職員の負担を抑えています。



キャリア教育の様子

③ 「高牟礼の森」の整備 【80 周年に向けて】

「おやじの会」が主体となり、校内にある子どもたちの学習・憩いの場「高牟礼の森」の整備を実施。来年度の 80 周年に向けて、環境整備を保護者の手で担うことにより、学校運営を直接的に支援する取り組みです。



森の整備活動の様子

④ 文化祭×高牟礼フェスタの共催 【令和 8 年度の目玉】

近年は平日 1 日開催となり生徒の負担が大きかった文化祭を、土曜日を含む 2 日間開催に変更。午前は劇鑑賞、午後は保護者主体の「高牟礼フェスタ」を開催することで、保護者の一層の参画を促しています。



昨年度の高牟礼フェスタの様子

子ども主体の学校行事と保護者主体の活動を組み合わせることで、「チーム附属」として、子どもも大人も共に育つちからが生まれています。